

平成28年度 博士課程授業科目課題

平成29年1月31日 現在

主担当教員	科 目	課 題
大谷教授	発生生物学 I	発生生物学 I で学んだことについて
	先天異常 I	先天異常 I で学んだことについて
	医生物学への数学・情報科学の応用	医生物学への数学・情報科学の応用で学んだことについて
安井教授	神経科学 III	神経科学 III で学んだことについて
	細胞間情報伝達学 I	細胞間情報伝達学 I で学んだことについて
紫藤教授	応用医科学	以下4項目の内、いずれか一つを選択しレポート作成のこと ・ヒトの随意運動開始期と大脳皮質活動との関連 ・熱中症の分類と予防ー心肺圧受容器との関連から ・冷え性の生理学 ・温度馴化における視床下部神経新生
	内分泌・代謝学 II	
	生体病態学 III	
廣田教授	生体機能測定学 I	今回受講した生体機能測定学 I の講義の中で、自分にとって最も為になったと思われる1つ、あるいは一連の講義を選び、生体機能測定に対する認識が講義を受講してどのように変わったか、出来るだけ具体的に記載してください。 どの講義についての記載かがわかるように、選択した講義を行った教官名と講義のテーマを必ず、レポートの冒頭に明示願います。
	医療のための光工学	今回受講した医療のための光工学の講義の中で、自分にとって最も為になったと思われる1つ、あるいは一連の講義を選び、光工学に対する認識が講義を受講してどのように変わったか、出来るだけ具体的に記載してください。 どの講義についての記載かがわかるように、選択した講義を行った教官名と講義のテーマを必ず、レポートの冒頭に明示願います。

※添付するレポートのファイル名は生体機能 測定学1(〇〇〇〇).docと、〇〇〇〇の所に氏名を明記してください。1はI(大文字のアルファベットのアイ)でも構いませんが、和文フォントのローマ数字のI(いち)は文字化けするので使用しないで下さい。(意味不明の方は、上記ファイル名をコピーしたあと、〇〇〇〇を自分の氏名に置き換えて下さい)。ファイルの属性は docx(office 2007以降のファイル形式)でも構いません。

※添付するレポートのファイル名は医療のための光工学(〇〇〇〇).docと、〇〇〇〇の所に氏名を明記してください。ファイルの属性は docx(office 2007以降のファイル形式)でも構いません。

主担当教員	科目	課題
土屋教授	老化 I	老化 I で学んだことについて
	分子機能学 I	分子機能学 I で学んだことについて
	細胞機能学 I	細胞機能学 I で学んだことについて
浦野教授	基礎医科学	受講したセミナーのうち一つについての概要、疑問および感想(A4 1枚)
	細胞生物学 I	受講したセミナーのうち一つについての概要、疑問および感想(A4 1枚)
和田教授	生体病態学 II	「薬理学講座のLab Meeting、或いはLectureに参加した感想を書いてください。また、薬理学講座の研究内容・手法を自分自身の研究にどの様に生かすことができるかについても書いてください。」 Please write your impressions about our Lab meetings and Lectures in the Department of Pharmacology that you took part in. (For example, please write "how you can utilize the contents and techniques about the lab meetings for your future research?").
並河教授	分子病態学 II	分子病態学 II で学んだことについて What I learned in "分子病態学 II".
	臓器病態学 II	臓器病態学 II で学んだことについて What I learned in "臓器病態学 II".
丸山教授	器官系の病態構造 II	「器官系の病態構造 II」を学んだ中で、現在の専門分野に関連してあなたが最も関心を持った事柄、またはテーマを選び、それについて記しなさい。
	臨床腫瘍学 V	「臨床腫瘍学 V」を学んだ中で、現在の専門分野に関連してあなたが最も関心を持った事柄、またはテーマを選び、それについて記しなさい。
吉山教授	感染症学 I	感染症の発症と宿主免疫機能 Balance between host immune defense and microbial virulence
原田教授	基礎免疫学 I	T細胞の活性化を制御する分子、CD28, CTLA-4, PD-1 について
竹下教授	中毒学 I	中毒学 I で学んだことについて
	中毒学 II	中毒学 II で学んだことについて
	個人識別学 I	個人識別学 I で学んだことについて
神田教授	環境医学 I	環境医学 I で学んだことについて
	環境医学 II	環境医学 II で学んだことについて
津本教授	医学・医療情報学 I	医学・医療情報学 I で学んだことについて
	地域医療学 II	地域医療学 II で学んだことについて

主担当教員	科 目	課 題
杉本教授	内分泌・代謝学 I	<p>以下の内、いずれか一つについて作成</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 先天代謝異常の病因と病態について記せ。(小児科 山口教授) 2. 内分泌学の観点から排卵、受精、着床現象について記せ。(婦人科 金崎講師) 3. カルシウム・骨代謝調節機構について記せ。(内科学第一 杉本教授) 4. 生活習慣病と骨粗鬆症の病態について記せ。(内科学第一 山内教授)
木下教授	器官系の病態構造 I	オスラー病の遺伝子変異、病態、症状、消化器系の異常、治療に関して解説せよ。
	臨床腫瘍学 I	FDG-PETで異常集積が観察される非腫瘍性疾患を2つ以上あげてその病態、診断、治療を説明せよ。
山口教授	臨床医科学	「認知症と生活習慣病の関連性について述べよ」
磯部教授	臨床腫瘍学総論	<p>臨床腫瘍学総論: Medical Oncology 以下の3つの課題から一つを選択し、最近のトピックスについて記載してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①がんのチーム医療 ②分子標的治療薬 ③がんの免疫療法 <p>【Medical Oncology】 Choose one among three following themes, and please describe about recent topics.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Team oncology 2. Molecular target therapy 3. Cancer immunotherapy
	地域がん治療学	<p>地域がん治療学: Local cancer therapeutics 以下の3つの課題から一つを選択し、現状と問題点について記載してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①がん検診 ②がん医療の病診連携 ③地域がん診療病院の果たす役割について <p>【Local cancer therapeutics】 Choose one among three following themes, and please describe about recent topics.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Cancer screening 2. Multidisciplinary cancer medicine and network 3. The role of local hospital in cancer treatment

主担当教員	科 目	課 題
磯部教授	がん医療社会学	<p>がん医療社会学 以下の4つの課題から一つを選択し、現状と問題点について記載してください。</p> <p>①高齢者がん 医療がん化学療法、外科療法の適応など</p> <p>②がんの終末期医療</p> <p>③がん医療と医療経済</p> <p>【Cancer medical sociology】 Choose one among three following themes, and please describe about recent topics.</p> <p>1. Cancer treatment in the elderly 2. The end period medical care of cancer 3. The cancer medical care and medical economy</p>
	臓器病態学Ⅲ	<p>臓器病態学Ⅲ: Organ Pathology Ⅲ 以下の3つの課題から一つを選択し、現状と問題点について記載してください。</p> <p>①COPDの併存症について</p> <p>②肺炎球菌ワクチンについて</p> <p>③間質性肺炎の治療について</p> <p>【Organ Pathology Ⅲ】 Choose one among three following themes, and please describe about recent topics.</p> <p>1. Comorbidity of COPD 2. Streptococcus pneumoniae vaccine 3. Treatment of idiopathic interstitial</p>
田島教授	腫瘍生物学Ⅰ	あなたが最も興味のある消化器がんに対する分子標的療法について記載してください(A4紙1枚)。
	臨床腫瘍学Ⅱ	あなたが最も興味のある消化器がんに対する最近の診断と治療について記載してください(A4紙1枚)。
織田教授	組織・器官系の構造と機能Ⅱ	心臓の構造・機能の関連について、収縮能と拡張能、右心機能と左心機能に分けて述べよ。また収縮能、拡張能の心エコー法による診断法について述べよ。
	臓器病態学Ⅰ	急性心不全の病態と治療法について述べよ。
内尾教授	組織・器官系の構造と機能Ⅰ	組織・器官系の構造と機能Ⅰで学んだことについて
	理工医学のための生物材料学	理工医学のための生物材料学で学んだことについて
秋山教授	腫瘍生物学Ⅱ	各自の研究に関連する領域で、最近に読んだ論文あるいは、ケースレポートのサマリとその論文にご自身のコメントを記載してください。
椎名教授	細胞内情報制御学Ⅰ	Wntシグナルを腫瘍発生の観点から論じなさい。

主担当教員	科目	課題
堀口教授	生体病態学Ⅰ	現在研究中のテーマとその内容を記載しなさい！ (Write your research title and summary !)
川内教授	臨床腫瘍学Ⅳ	レポートテーマ：下記2課題について、レポートを作成して提出してください。 1. 癌治療における分子標的薬の種類と効果発現の機序について述べよ。4000字以上～ Please explain of molecular targetting drugs for th treatment of patients with malignant tumor and its mechanism of action.(double space, Times new roman, 12 pitch, A4 size page 6~8 2. 発がんとうイルスの関係について述べよ。4000字以上 Deeply review on the pathological contribution of viruses to the oncogenesis.(double space, Times new roman, 12 pitch, A4 size page 6~8)
大平教授	老化Ⅱ	細胞老化の新たな制御因子などを発見するためのプロジェクトを考案しなさい。
北垣教授	臨床腫瘍学Ⅲ	臨床腫瘍学に関してあなたが得た最新の知見について記載しなさい。 ただし、出典文献を記載し、制限文字数はA4 1ページとする。
	生体機能測定学Ⅱ	生体機能測定学に関してあなたが得た最新の知見について記載しなさい。 ただし、出典文献を記載し、制限文字数はA4 1ページとする。
齊藤教授	緩和ケア学	これまでの研究成果と今後の展望
	神経科学Ⅱ	これまでの研究成果と今後の展望
関根教授	細胞生物学Ⅱ	Describe how to detect S-phase cells <i>in vivo</i> and <i>in vitro</i> within 500 words in English.
	口腔腫瘍学	Describe treatment options of tongue squamous cell carcinoma (T4bN2bMo) including functional reconstruction using dental implant within 1,000 words in English.
長井教授	臨床医学と社会・環境医学への高度情報学の応用	今年度受講した左記講義の中で、自分にとって興味深いと思われた1つ、あるいは一連の講義を選び、臨床・社会・環境医学の中で高度情報学がどのように利用されているかに力点をおいて説明し、講義により今後医学情報の活用に関する認識がどのように変わったか、できるだけ具体的に記載してください。どの講義についての記載かわかるよう、講義を行った教官名等を明示願います。長さはA4で1枚程度です。
熊倉教授	地域医療学Ⅰ	地域医療について
	総合診療学Ⅰ	総合診療について
石橋教授	総合診療学Ⅱ	離島での包括ケア：「離島にしかできない包括ケアの構築」
廣瀬教授	医療疫学・統計学	医療疫学・統計学で学んで感じたこと

主担当教員	科 目	課 題
鈴宮教授	腫瘍生物学Ⅲ	造血器悪性腫瘍に対する分子標的療法および分化誘導療法
	臨床腫瘍学Ⅵ	各専門領域の腫瘍に対する抗がん薬治療の理論と実際
直良教授	薬物動態学Ⅰ	薬物動態の個体間変動に関する論文を1つ取り上げ、その内容を批判的にまとめなさい(A4 1枚)。レポートはメール添付で提出し、論文のPDFファイルを添付すること。
中村教授	分子病態学Ⅰ	分子病態学Ⅰで学んだこと
	知的財産と社会連携	知的財産と社会連携で学んだこと
嘉数准教授	発癌Ⅰ	「発癌について学んだこと、考察したこと」 (What did you learn and consider concerning carcinogenesis?)
永井准教授	神経科学Ⅰ	下記の(1)あるいは(2)のどちらか一つについてレポート(A4 1枚)を提出すること。 “Please submit a report about whether either (1) or (2).” (1)これまでに参加したセミナーや講義などで、研究の助けになった内容。 “About the helpful contents for your research in the lectures which you had registered.” (2)これまでの研究の進行状況。 “The progress of your research.”
矢野准教授	細胞間情報伝達学Ⅱ	受容体機能異常に基づく内分泌疾患について説明せよ。 Explain endocrine diseases due to the abnormality of receptor function.

※課題欄に課題があるものは既にメールでお知らせしています。届いていない方は、msa-daigakuin@office.shimane-u.ac.jpまでメールを送信ください

※レポートの提出締切は**2月22日(水)**です。

※レポートを提出される際には必ず、**学務課にも同報**するようにお願いします。